

第8次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.4）

重点取組	在宅医療の推進
目標	地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して住み慣れた地域で在宅療養できる支援体制を構築します。
実施主体	市町、医師会、医療機関、地域包括支援センター、保健所等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ3回 多職種研修、交流会40名 在宅医療・在宅介護ガイドブック作成 連携ノート、入退院支援ルール等の啓発	関係機関の連携強化を図るために、周知を図っているが、認知度が上がらず、連携が進んでいない。また、入退院支援ルール等も効果的に活用されていない。	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回 多職種研修、交流会 在宅医療・在宅介護ガイドブック作成 連携ノート、入退院支援ルール等の啓発
② 在宅歯科保健医療体制の充実	地域在宅医療推進窓口のご案内の配布 「訪問歯科診療対応医療機関」の情報を在宅医療・在宅介護ガイドブックやホームページに掲載 多職種研修、交流会のテーマ「自宅で受けられる歯科診療とは」を開催	認知度が上がらない。	地域在宅医療推進窓口のご案内。 「訪問歯科診療対応医療機関」の情報を在宅医療・在宅介護ガイドブックやホームページに掲載。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談（令和7年1月現在 実績46件） ACP普及啓発（通いの場での出前講座11名・市民講座75名）チラシ配布 エンディングノート、終活ペリパケ配布 広報掲載（在宅医療等）	一層の周知。	介護事業所、医療機関アンケートを基に、周知活動を行う。 ACP普及活動（出前講座、市民講座、多職種研修）エンディングノート等 連携センター（相談先）の周知活動
④ 人材育成	多職種研修、交流会40名	参加者が少なく、交流する機会も少ない。	アンケート結果、在宅医療・介護連携推進会議の委員の意見等により、研修内容を決定する。また、交流会を活発に行うため、座談会形式で行う。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	災害支援プロジェクトにおいて、医療的ケア児を対象とした避難訓練を実施した。実施に際して自治会等の協力を得たことにより、地域とつながり強化や、支援の必要性に関して周知が図られた	個別避難計画の作成、福祉避難所の人員配置や感染症対策等の体制整備、医療的依度の高い方に必要な電源の確保	医療的ケア児等から避難訓練実施に関する要望があれば、実施を検討する
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	（福祉課）複雑化・複合化した課題に対応する包括的な支援体制を整備し、様々な相談に対し関係支援機関と連携し支援を実施。 R5年度実績アウトリーチ1,754件多機関協働745件 鴻巣市、桶川市、北本市、上尾市、伊奈町と医療機関による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」に参加し、情報交換を行った。	（福祉課）身寄りのない高齢者等が増加するであろう状況を踏まえ、近隣自治体及び医療機関等との情報共有、相互理解の推進が必要 身寄りのない高齢者が、単身を理由に救急搬送を断られたり、福祉サービス等の利用がスムーズにいかない場合がある。	（福祉課）鴻巣市、桶川市、北本市、上尾市、伊奈町と医療機関による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」開催予定（R7年度伊奈町主催） 鴻巣市、桶川市、北本市、上尾市、伊奈町と医療機関による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」に参加し、近隣自治体や医療機関と情報交換を行うことで連携体制を整備する。

【上尾市】

主な取組	令和7年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	(1)在宅介護連携支援センターを中心に、市内医療機関、包括、ケアマネの会あげお、基幹相談支援センターで構成されている医療介護連携会議（アッピー★医療・介護・福祉地域連携の会）を毎月1回（第4木曜日）開催。多職種連携を強化するため、7月に医療・介護・福祉分野の関係者を対象とした研修等（パネルディスカッション）を開催した。 (2)上記連携会議メンバーを含むワーキンググループにて、令和4年度に策定した入退院支援ルールの内容を見直し、改訂を実施した。（緩和ケアの内容を追加） (3)地域の連携を強化するとともに、ケアマネジャーが多様な専門職の助言を受けながらよりよい支援について検討する「自立支援型地域ケア会議」を地域包括支援センター主催で12回開催した。	(1)メンバーの所属・職種や負担に偏りがある。 (2)入退院支援ルールについて、認知度に対し、活用頻度が少ないため、周知方法等を含めて、継続した評価、見直しが必要。 (3)地域によっては、参加者が少ない地区も見受けられる。参加するメリット（連携強化、適切な助言等）が感じられる会議となるような工夫も必要である。	(1)医療介護連携会議（アッピー★医療・介護・福祉地域連携の会）は引き続き毎月1回（第4木曜日）開催予定。 (2)R8年7月に医療・介護・福祉分野の関係者向けの研修を実施予定。 (日程、テーマについては検討中)
② 在宅歯科保健医療体制の充実	成人歯科健康診査において、外出困難な方が受けることできるよう、訪問歯科の枠組みを確保した。 在宅歯科医療の相談窓口について、市民が情報を得やすいよう、市内全戸配布の健康カレンダーに掲載した。	訪問歯科や在宅歯科診療の相談窓口について、市民の認知度はあまり高くはない印象	引き続き、成人歯科健康診査における訪問歯科の枠組みを確保していく。 在宅歯科医療の相談窓口についても、必要に応じて周知を図っていく。

<p>③ 必要な情報の提供、相談・支援</p>	<p>(1)在宅医療連携拠点(上尾市医師会在宅医療連携支援センター)が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数:220件(見込み) (2)高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳(わたしノート)を作成し、市民に配布。配布数:900冊(見込み) (3)医療的ケアを必要とする方へHP上で作成したしおりを公開し、必要時に必要な部署に繋がるよう案内している。 (4)若年がん患者在宅療養生活支援18歳以上40歳未満のがん患者にて在宅療養サービス利用費の一部を助成する。</p>	<p>(1)在宅医療連携拠点では継続した相談・支援が継続できていないため、大きな課題はない。 (2)わたしノートの周知・配布については、無関心層への働きかけや支援者による活用が課題になっている (3)総合的な窓口はなく、縦割りになってしまうこと (4)利用者数が明確に予測できないため、予算組みの難しさがあるが、引き続き、制度として整備していく</p>	<p>(1)在宅医療に関する情報提供や相談・支援を継続。 (2)継続して「わたしノート」を市民周知する。 (3)在宅診療マップを作製し、医療機関、地域包括支援センター公共施設等に配布。配布予定数:4,000枚 (3)今後も必要な情報が届くよう継続して情報収集をしていく (4) ・市民へ向けての周知(市HP、医療機関でのチラシ配架) ・医療・介護・福祉関係者に周知(会議や研修会への参加)</p>
<p>④ 人材育成</p>	<p>(1)多職種連携を強化するため、7月25日に医療・介護・福祉分野の関係者を対象とした研修等(パネルディスカッション形式)を開催した。 (2)専門職の講師の助言を受けながら、主任介護支援専門員として必要な知識・技能の習得および資質向上を目的として、上尾市介護支援専門員レベルアップ研修を開催した。 第1回は令和7年10月23日に開催し、参加者20名のうち11名に修了証を交付した。 第2回は令和8年1月29日に開催し、参加者25名のうち7名に修了証を交付した。 (修了することにより、主任介護支援専門員の資格更新の受講要件である法定外研修の1単位になるため希望者のみに修了証を交付している。)</p>	<p>(1)研修会への参加について、職種ごとに偏りがある。 (2)主任介護支援専門員レベルアップ研修については、参加機会の確保や内容の充実、研修効果の把握等が今後の課題である。 地域包括ケアを支える人材育成の推進に向け、継続的な取組が求められている。</p>	<p>(1)R7年7月に医療・介護者・福祉分野の関係者向けの研修を実施予定。(日時、テーマについては検討中) (2)令和8年度においても、年2回の開催を予定し、専門職の講師による、実践的な資質向上に資する研修を実施する。</p>
<p>⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援</p>	<p>【R7年度実績】 ・人工呼吸器用自家発電機、外部バッテリー:1件 ・電気式たん吸引機:9件 ・ネブライザー1件 ・難病対策地域協議会への参加 ・自立支援協議会での医療的ケア児に関する検討</p>	<p>・実情が把握できておらず、必要な支援の把握ができていない。 ・各部署にまたがる支援が必要であり、連携が取れていない</p>	<p>自立支援協議会にて、自宅避難について情報収集(勉強会)を実施予定。また、周知物等の作成を検討中</p>
<p>⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備</p>	<p>鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」へ参加した。(R7.11.5実施)</p>	<p>身寄りのない高齢者等への円滑なサービスの提供のためには、他市町村や医療機関と連携が必要である。「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」にて、各自治体で抱えている問題点を共有し、解消に向けて意見交換を行った。</p>	<p>昨年度に引き続き、鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」へ参加予定。</p>

【桶川市】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
<p>① 関係機関・団体の連携強化</p>	<p>【北足立地区(鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町)入退院支援ルールについての会議】  【地域包括ケア推進協議会の開催】 ・在宅医療・介護連携推進事業について、医師、歯科医師、薬剤師、介護事業所、地域包括支援センター、区長、民生委員等が委員となった会議において、情報共有、必要事項の協議等を行っている。 本会:年3回、部会:年4回開催した。 高齢介護課が主管課だが、本会には、保険年金課、健康増進課職員にも参加してもらっている。  【医療的ケア児等支援協議会の開催】 ・令和7年7月24日開催。埼玉県医療的ケア児等支援センター、特別支援学校、保健所、訪問看護ステーション、機関相談支援センター、市の保健、医療、福祉、保育、教育等の担当者が参加。  【上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会】 ・医療的ケア児等支援部会:部会年2回開催。</p>	<p>【地域包括ケア推進協議会の開催】 ・会議については、報告事項が主となってしまっている。  【医療的ケア児等支援協議会の開催】 ・医療的ケア児等コーディネーターの計画的配置。</p>	<p>【入退院支援ルール】 ・北足立地区入退院支援ルールの運用状況について関係機関へのアンケート調査を実施 ・入退院支援ルールの周知  【地域包括ケア推進協議会】 ・本会:年3回、部会:年4回開催予定  【医療的ケア児等支援協議会】 ・年1回程度予定。</p>
<p>② 在宅歯科保健医療体制の充実</p>	<p>【必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施】  【桶川市地域資源マップ(在宅療養マップ)を作成】 ・歯科医院の情報を掲載。地域包括支援センターや歯科医院、市民へ配布した。</p>	<p>・在宅歯科対応の医療機関を知らない市民や関係機関が多いことから、地域資源マップを活用し、継続して周知していく必要がある。</p>	<p>【桶川市地域資源マップ(在宅療養マップ)を作成】 ・情報更新(年1回実施している)</p>

③ 必要な情報の提供、相談・支援	<p>【在宅医療連携センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療と介護を一体的に提供する体制作りを担う機関として「桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター」を設置。退院支援や相談対応などを行った。</li> <li>R8.1月末時点相談件数：延41件</li> </ul> <p>【ACPの普及・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民講座</li> <li>・今年度企画したが、悪天候のため、中止した。</li> </ul>	<p>【在宅医療連携センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数は年々増えてきているが、周知が行き届いていない現状もあるので、広報、介護予防教室等市民が集まる場での周知に努めていく必要がある。</li> </ul>	<p>【在宅医療連携センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談先としての周知</li> </ul> <p>【ACPの普及・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民講座の開催</li> </ul>
④ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアシステムの構築に向けた研修会の開催(多職種研修・交流会)</li> <li>令和8年1月29日 32名参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアシステムの構築に向けた研修会の開催(多職種研修・交流会)</li> </ul>
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<p>【上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等支援部会にて課題として検討をし、今年度は鴻巣北本地域自立支援協議会で実施した個別支援計画作成および避難訓練の実施状況についてヒアリング。</li> <li>・鴻巣保健所主催の「医療的ケア児に関する研修会」に参加(令和7年8月26日)</li> <li>・鴻巣保健所主催の訪問相談員育成事業「災害対策研修会(災害時における在宅難病患者等の支援体制づくり)」に参加(令和7年10月22日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の作成、支援体制整備が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係課と連携し、災害時の支援体制の構築に向けた検討を行う。</li> </ul>
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院や保健所、関係機関と連携しながら対応した。また、身寄りがなく、生活に不安のある高齢者には、早めに成年後見制度を活用するなどの周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身寄りがないと入所・入院等が難しく、今後成年後見制度の活用についての周知が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し必要なサービスが提供できる体制の継続、充実を図る。</li> </ul>

【北本市】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北本市在宅医療・介護連携推進協議会 3回実施。</li> <li>・医療機関・薬局・介護事業所職員研修会 1回実施 82人参加。</li> <li>・自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場を3回開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護関係者との顔の見える関係づくりが出来る場の提供が必要であるが、マンパワーの関係から回数増が困難である。</li> <li>・地域の保健、医療、福祉関係者等の連携体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北本市在宅医療・介護連携推進協議会 3回実施。</li> <li>・多職種研修会 1回実施。</li> <li>・自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場を3回開催予定。</li> </ul>
② 在宅歯科保健医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オールフレイル市民講座 1回実施 11人参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度は「オールフレイル市民講座」を実施し、医療・介護関係者との交流を図ることができた。引き続き、歯科医師と介護関係者との情報提供、連携体制の構築が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オールフレイル市民講座 年1回実施。</li> </ul>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 桶川北本伊奈地区在宅医療連携センターによる市民、医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護に関する相談の実施。</li> <li>(2) ACP啓発・周知</li> <li>・ACP講座 4回実施。</li> <li>・エンディングノートの配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 在宅医療連携センターの相談件数が少ない。庁内関係課への周知や介護事業所等への周知の強化が必要である。</li> <li>また、近隣市である鴻巣市との連携の強化が必要である。</li> <li>(2) ACP講座の実施場所の選定や調整が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 桶川北本伊奈地区在宅医療連携センターによる市民、医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護に関する相談の実施。</li> <li>(2) ACP啓発・周知</li> <li>・ACP講座 4回実施。</li> <li>・エンディングノートの配布。</li> </ul>
④ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北本市介護支援専門員・地域包括支援センター職員精神保健福祉合同研修会 1回実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉に関する相談が増加し、対応に不安を感じている専門職が多い。介護専門職と地域包括支援センターとの顔が見える関係づくりが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北本市介護支援専門員・地域包括支援センター職員精神保健福祉合同研修会 1回実施。</li> </ul>
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人工呼吸器用自家発電機・外部バッテリー」を日常生活用具給付等事業の対象品目としており、給付を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児者の個別支援計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き医療的ケア児者の個別避難計画の作成を進める。</li> </ul>

【伊奈町】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町・医療機関等と定期的な会合を実施</li> <li>・多職種連携研修会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町・医療機関等と定期的な会合を実施</li> <li>・多職種連携研修会</li> </ul>
② 在宅歯科保健医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし(民間医療機関が実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅診療可能な医療機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし(民間医療機関が実施)</li> </ul>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療連携センターへ委託</li> <li>町と関係機関で連携し、情報を共有</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療連携センターへ委託</li> <li>町と関係機関で連携し、情報を共有</li> </ul>
④ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修・講習の参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>研修・講習への参加</li> </ul>
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に災害が発生した際に、医療依存度の高い人に対し、どのような支援を行うか町として検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未定</li> </ul>
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の高齢者等を見守る「お年寄り世帯見守りたい」ボランティアの運用</li> <li>ACP普及講座6回開催(うち1回は3月開催予定) 5回参加者 104名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たい員募集の周知方法</li> <li>ACPの町民の認知度は低い。親族や関係者と話し合いを持っている方が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に引き続き、たい員数の更なる増加を図るため、事業の周知を徹底する。</li> <li>入退院支援ルール(R4.5策定)に則り、連携体制を図る。ACPの普及・啓発に努める。</li> <li>4市1町にて連携会議を開催予定</li> </ul>

## 医師会

## 【北足立郡市医師会】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	多職種連携し認知症ケアネット懇話会を開催	連携強化のためには頻度を高くしなければいけない	連携強化のため「認知症」「ACP」等、要介護関連の多職種連携の研修会を開催予定
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療連携センター（拠点）の相談の支援 ACP普及啓発講師人材バンク制度により講演会開催（年5回）		在宅医療連携センター（拠点）の相談・支援の強化
④ 人材育成	人生の最終段階における医療・ケアを担う人材育成研修会を開催した	多職種向けの「ACP研修会」を行い理事を更に深めている	昨年度まで研修に参加できていない職種の研修会への参加促進 研修会の増加
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	通院・在宅患者に対し、主治医の指示により医療機器等の取扱いや電源確保を個々に対応している	個々に蓄電池等の充電量や運用など住所地における災害時の電源供給先について平時に確認する必要がある	医療機関として災害時の対応について医師会内で研修会等を通じて情報共有を実施する
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	一昨年度より運用している「入退院支援ルール」を基に円滑なサービス提供に努めている	まだ、高齢者の掘り起こしは十分できていない高齢者自身への介護・福祉の啓蒙が必要と考える	外来受診時に医療機関から行政への情報提供を更に行う必要がある 多職種連携を強化しサービスに結びつける顔の見える関係が大切であるため研修会を増やす予定

## 【上尾市医師会】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>「上尾市入退院支援ルール連携会議」R7.5.22、7.24、9.25に開催。入退院支援ルール改定（R8.3月発行予定）に向けて内容を検討。</li> <li>「アップピー☆医療・介護・福祉地域連携の会」専門職向け研修会「医療・介護・福祉が連携するために地域課題を一緒に考えよう！」R7.7.25開催。精神疾患を抱えた患者の対応について事例を共有。地域住民向け講演会「認知症と共に生きる～当事者・支援者の立場から」をR7.12.6開催。企画会議は毎月開催。</li> <li>「上尾市の障害福祉サービスを知っていますか？」研修会 R8.2.13開催予定</li> <li>「在宅緩和ケア地域連携会議」 R7.6.30、11.10に開催。緩和ケアに関する連携、入退院支援ルール、若年がん患者在宅療養生活支援事業等について検討。研修会「知っておきたい地域の緩和ケアについて」をR8.3.19に開催予定。</li> </ul> ※上記3つの会議体は、上尾市、病院、在宅医療機関、歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、介護老人保健施設、有料老人ホーム、基幹相談支援センター、医師会、在宅医療連携支援センター等の医療・介護・事務従事者により構成される	<ul style="list-style-type: none"> <li>「上尾市入退院支援ルール連携会議」R7.5.22、7.24、9.25に開催。入退院支援ルール改定（R8.3月発行予定）に向けて内容を検討。</li> <li>「アップピー☆医療・介護・福祉地域連携の会」専門職向け研修会「医療・介護・福祉が連携するために地域課題を一緒に考えよう！」R7.7.25開催。精神疾患を抱えた患者の対応について事例を共有。地域住民向け講演会「認知症と共に生きる～当事者・支援者の立場から」をR7.12.6開催。企画会議は毎月開催。</li> <li>「上尾市の障害福祉サービスを知っていますか？」研修会 R8.2.13開催予定</li> <li>「在宅緩和ケア地域連携会議」 R7.6.30、11.10に開催。緩和ケアに関する連携、入退院支援ルール、若年がん患者在宅療養生活支援事業等について検討。研修会「知っておきたい地域の緩和ケアについて」をR8.3.19に開催予定。</li> </ul> ※上記3つの会議体は、上尾市、病院、在宅医療機関、歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、介護老人保健施設、有料老人ホーム、基幹相談支援センター、医師会、在宅医療連携支援センター等の医療・介護・事務従事者により構成される	<ul style="list-style-type: none"> <li>「上尾市入退院支援ルール連携会議」（年3回開催）上尾市入退院支援ルールの周知、活用状況の評価（アンケート）、次回改訂時の内容の検討。</li> <li>「アップピー☆医療・介護・福祉地域連携の会」（毎月会議開催、年1回専門職向け研修会、年1回地域住民向け講演会の開催に向けた企画）</li> <li>障害福祉サービスに関する研修会を開催予定（年1回開催）</li> <li>在宅緩和ケア地域連携会議（年2回会議開催、年1回研修会開催）</li> </ul>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療連携支援センター（拠点）は、（市民）・医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数99件（R7.4～R8.1月末）</li> <li>地域住民への在宅医療の講演会（R8.2.27予定）</li> <li>上尾市医師会ホームページ内に、専門職向け専用ページを立ち上げ、医療・介護資源の情報提供、研修会の動画のアップ、上尾市での取り組みなどについて情報提供。</li> <li>ACP普及啓発講師人材バンク登録制度登録医師等の講師によるACP普及啓発研修会を開催。開催日・（参加者数）：R7.10.10（16）、10.31（26）、11.12（28）、11.25（21）、11.27（36）、R8.1.20（11）、2.2（37）</li> <li>上尾市におけるMCS登録者数：R8.1月末の登録者数（R7.1月末の登録者数）MCS登録者数527人（392人）、うち「上尾医師会ねっと」グループ（医師）参加者66人、「あげお地域MCS」グループ（多職種）参加者230人（182人）、「患者グループ」152件（99件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療連携支援センターが知られていない</li> <li>在宅医療に関する地域住民への普及啓発ができていない。</li> <li>上尾市医師会ホームページの専門職向けページの内容の充実。</li> <li>ACP講演会を開催できていない地域が多い。</li> <li>MCS登録者527人、患者グループ152件。患者グループの活用をしている訪問診療（上尾市内）が少ない。MCSの普及活動を継続的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療連携支援センターの周知</li> <li>専門職からの相談対応</li> <li>訪問診療マップの見直し</li> <li>在宅医療についての講演会の開催</li> <li>医師会ホームページ内の、専門職向けページの内容の充実</li> <li>地域住民向けACP普及啓発講演会を未実施地域で7回開催</li> <li>MCSの周知と研修会の開催（年1回）</li> </ul>

## 歯科医師会

## 【北足立歯科医師会】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加 北足立歯科医師会主催 口腔ケア研修会により他職種連携を図る	在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加 他職種への周知方法を検討しより多くの職種との連携を強化	各関係機関・団体との今まで以上の連携強化を目指す
② 在宅歯科保健医療体制の充実	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣 北足立窓口 6件 上尾窓口 20件	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣 令和7年度で上尾窓口閉鎖	今まで以上の在宅歯科医療推進体制の充実を目指す

③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談 北足立窓口 10件 上尾窓口 9件	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談	訪問歯科等に関する相談数の増加を目指す
④ 人材育成	埼玉主催 在宅歯科医療研修会 北足立歯科医師会主催 口腔ケア研修会の開催	研修会などの受講者数増加を目指し取り組める歯科医師を増やす	訪問歯科に関する知識を増やし取り組める人材を増やす

**薬剤師会**

**【鴻巣薬剤師会】**

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	令和7年度鴻巣市在宅医療・介護推進協議会に参加	団体間の連携が、地域の薬局全てに周知が難しい	令和8年度鴻巣市在宅医療・介護推進協議会に参加
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議・5地域包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議に薬剤師アドバイザー派遣	ケア会議に参加の薬剤師・薬局は情報交換は進んでいるが、地域内薬局全てが同様に情報交換の機会があるわけではない	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議、5地域包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議に薬剤師アドバイザーを派遣

**【上尾伊奈地域薬剤師会】**

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	①行政の関連会議へ委員として参画、②保健所、行政などの在宅医療、連携体制の構築に係る研修・講演会への参加、③社協による医療介護福祉をつなぐ会への企画・参加（約100名）	勤務薬剤師が多いので、業務の都合で時間的制限などがあり、委員への委嘱が特定の個人に偏る傾向がある。企業としての理解・協力を求める。	令和7年度と同じく、他職種だけでなく会員間でも相互理解などで、「顔の見える関係、連携強化」を図る。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	地域薬剤師会HPや行政発行誌に薬局の機能情報（在宅訪問、感染症対応、時間外対応などの薬局）を掲載して地域住民への情報提供	普段から地域住民への情報発信の認知を広げるための店頭での広報活動が必要	令和7年度に引き続き地域の薬局情報リストの充実と同時に会員、非会員を問わず多くの薬剤師への啓蒙活動の実施

**【桶川市薬剤師会】**

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	市内5か所の地域包括ケア会議に参加しました。		地域包括ケア会議に参加
③ 必要な情報の提供、相談・支援	各薬局で随時情報提供、相談を実施しました。		各薬局で随時情報提供、相談

**【北本市薬剤師会】**

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	各関係機関と連携強化を図りたかったが未実施	各関係機関との連携	各関係機関との連携を図る

**消防本部**

**【埼玉県央広域消防本部】**

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	・関係市との情報共有等の連携 ・頻回要請者について各隊の情報共有 ・要援護高齢者支援ネットワークによる連携 ・医療支援情報等について関係市との共有	・在宅療養者や頻回要請者からの救急要請に対応するため、関係機関との更なる連携強化が必要となる。	・関係機関との連携強化 ・頻回要請者等への対応として、各救急隊等へ情報共有の徹底及び継続

**【上尾市消防本部】**

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	・特定疾患を持つ家族などから提供された情報を共有しています。	・情報共有がない特定疾患患者からの救急要請に対しては、病態の把握を含めた活動時間の延長が懸念されます。	・引き続き、7年度の取り組みを継続するとともに、関係各署と情報を共有し、円滑な業務が出来るよう取り組んでいきます。

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和7年度		令和8年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツールメディカルケアステーション(MCS)の研修会を開催した(医療機関から62名参加)</li> <li>難病対策地域協議会 令和8年2月16日開催 協議会委員18名出席</li> <li>北足立郡市医師会主催7年1月9日在宅医療研修会参加</li> <li>医療と介護の栄養情報連携連絡会の開催 第1回 令和7年7月7日開催 第2回 令和8年1月26日開催</li> <li>嚥下食早見表を作成(HP公開)し、年2回の施設追加時期を設けている。(R6年より)</li> <li>医療的ケア児協議の場への参加 6回</li> <li>管内病院と共催でセミナー開催(バステルタグプロジェクト) 「災害時における医療的ケア児者支援」 令和7年11月14日開催 会場51名 オンライン81名</li> <li>医療的ケア児の子育てサロン「にこちゃんルーム」への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療と福祉のさらなる連携が求められる。</li> <li>会議や研修会受講により情報把握や課題の共有を図っている状況。参加者全体で考え、所属の取組に活かしていただけるような仕組みづくりが課題。円滑に連携を図る為に情報共有ツールとしてMCSの活用が望ましい。</li> <li>あげお地域MCS(摂食嚥下連携の会)を活用し、個別相談や摂食嚥下早見表の共有を実施中。MCS参加施設の増加が課題である。</li> <li>多職種の活用に向けた周知。</li> <li>医療的ケア児等支援センター等と連携し、災害時も含めた支援のレベルアップが望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鴻巣保健所管内研修会の開催</li> <li>難病対策地域協議会の開催</li> <li>在宅医療連携関連研修会への参加</li> <li>医療と介護の栄養情報連携連絡会の開催</li> <li>医療的ケア児協議の場への参加</li> <li>関係機関支援者向け研修会の開催</li> <li>関係機関と連携し、自助力強化を目的とした事業を実施</li> </ul>
② 在宅歯科保健医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健所歯科保健推進会議 10月9日開催 35名参加</li> <li>口腔ケア研修会 11月27日開催 45名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低所得者層の口腔内健康格差への対応が生じている。</li> <li>健康長寿や全身の健康維持に、口腔ケアが重要である旨の認知向上が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健所歯科保健推進会議 開催予定</li> <li>口腔ケア研修会 1回開催予定</li> </ul>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個別相談(通年) ※R8.2/16現在 ・難病 訪問 16名 面接 50名 電話 239名</li> <li>②難病患者へ療養状況を伺うアンケートの実施</li> <li>③神経難病患者向け栄養管理医療講演会 令和7年9月26日開催 会場:患者7名、家族4名、支援者5名参加 オンデマンド:(講義1)42回、(講義2)25回 視聴</li> <li>①個別相談(通年) ※R8.2/17現在 ・小慢 訪問:8名 面接:56名 電話:163名</li> <li>②小慢:療養状況を伺うアンケートの実施</li> <li>③長期療養児教室(交流会) 「夏から備える!災害対策」 令和7年8月19日開催 会場7名・オンライン3名 オンデマンド:36回視聴(延)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅療養患者は増加傾向にあり、患者・家族の高齢化に伴い、介護負担感が高まっている。単身や認知症の高齢者等支援制度等の申請が困難なケースもあり関係機関・多職種での連携が必要。</li> <li>在宅医療的ケア児は増加している。介護に負担感を持つ家族は多く、利用可能な支援制度等の拡充が求められる。</li> <li>移行期における就園・就学・就労支援および受け入れ可能な医療機関の検討等が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した相談・支援や情報提供を行う等、円滑かつ効果的な方法や工夫を検討。</li> <li>①個別相談(通年) ・小慢 訪問:10名 面接:60名 電話:170名</li> <li>②小慢:療養状況を伺うアンケートの実施</li> </ul>
④ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療依存度の高い在宅療養者(児)支援者研修会 対象者:ケアマネージャー、訪問看護師、保健師等 令和7年9月18日開催 25名参加</li> <li>災害対策研修会 対象者:市町保健衛生・障害福祉・高齢介護・防災主管課職員 令和7年10月22日開催 24名参加</li> <li>長期療養児教室「乳幼児期から学童期における医療的ケア児への移行期支援～就園・就学、災害対策～」 令和7年8月26日開催 会場22名・オンライン9名 オンデマンド:150回視聴(延)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会受講を通じて情報把握や課題の共有を図っている状況。参加者自身が所属の取組に活かしていただけるような工夫が課題。</li> <li>研修会参加者のスキルアップのみでなく各所属内の活動に活かすとともに、随時最新情報への更新、継続性により地域の支援者全体の資質の向上を図ることが望ましい。</li> <li>医療的ケア児等コーディネーターの育成がなされており、地域での連携が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療依存度の高い在宅療養患者支援者向けの研修会の開催</li> <li>長期療養児教室の開催</li> </ul>
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>※①②は1月末現在</li> <li>①災害時医療機器使用者リスト作成・更新 難病:人工呼吸器装着 38名 酸素療法使用者 62名 小児慢性:人工呼吸器装着者 20名 酸素療法使用者 17名</li> <li>②在宅医療機器使用者のマッピング・更新 難病:人工呼吸器装着 28名 酸素療法使用者 60名 小児慢性:人工呼吸器装着者 16名 酸素療法使用者 17名</li> <li>③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供</li> <li>④医療依存度の高い在宅療養者(児)支援者研修会 令和7年9月18日開催 25名参加</li> <li>⑤自助力を高める為の参考ちらし「災害時に備えて準備をしていますか?」の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町へ提供した情報の活用状況や個別支援計画策定状況についての把握が課題。</li> <li>最新情報の把握</li> <li>患者家族の自助力を高める為、研修会等を通じて日ごろ関わる支援者全体の資質の向上を図ることが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①災害時医療機器使用者リスト作成・更新</li> <li>②在宅医療機器使用者のマッピング・更新</li> <li>③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供</li> <li>④医療依存度の高い在宅療養患者の支援者向け研修会開催</li> <li>⑤災害時支援に関わる最新情報の収集</li> </ul>
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>4市1町による『身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会』に出席し、意見交換、情報共有(R7.10.5)</li> <li>北足立郡市医師会管内講演会「あげお地域のMCSの挑戦:ICTでつなぐ在宅医療と多職種連携」に参加(R8.1.27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町の関係課及び医療機関(病院)との連携をさらに確保し、身寄りのない方に対する医療、保健、福祉サービスのシームレスな提供体制を形成する。また、この取組を他の地域にも普及啓発していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4市1町による『身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会』への参加と積極的な情報交換・共有をしていく。また、機会をとらえて他の地域にも情報提供していく。</li> </ul>